

# 交通事故復旧作業（リスクアセスメント）作業手順書

会社名	中日本ハイウェイメンテ名古屋(株)	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和3年4月9日	クレーン付トラック、2tトラック、	発電機・集塵機	保護帽、保護手袋、安全靴、安全チョッキ、	GPR鋼管
改訂日		高所作業車(ビーム・デッキ)、橋梁点検車	コンプレッサー	保護眼鏡	セメント
作成者			削岩機		
必要資格等	運転免許(普通・中型)、等			作業人員	5名
備考					

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価			危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	参 考 図 (別紙も可)
				可能性	重大性	総合			
準備作業		作業前ミーティング(共通作業手順)							元請施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業環境に即した物とすること。
移動①		現場への移動(入場時)(共通作業手順)							
本作業		ガードレール・付属物等 撤去							
	1	撤去、修正部材をマーキングし、明確にする	不要箇所の撤去又は補修	1	1	1	職長は事故調書を参考に作業員に対して、指示及び方針を明確にする	全員	
	2	ガードレール撤去作業 ・ビーム撤去	作業員の不安全行動 ・ビーム変形による跳ね返り	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する ・撤去時に必ずロープかスリングベルトで支柱に縛り跳ね返りを抑制する	職長 作業員	
	3	支柱キャップ撤去	・ビーム脱落による自身への落下災害 ・サンダーによるケガ	1	1	2	・重量物の運搬、固定は原則としてクレーンを使用 ・耐切削手袋・保護めがねをする	作業員	
		GPR設置							
	1	支柱内土砂撤去	脚立使用時に転倒する	1	2	3	無理な体勢での作業はしない	作業員	
	2	拘束治具設置	設置時に手をはさむ	1	1	2	手元の確認をする	作業員	
	3	GPR鋼管設置	設置時に手を滑らせ取り落とす	1	1	2	慎重に作業を行い手元に注意する	作業員	
		ガードレール・付属物等 設置							
	1	現場の整理整頓	使用工具や部材等が乱雑に置かれ、作業ヤードが縮小	1	1	1	整理整頓には常に心がけ、使用工具等はその都度片付ける	作業員	
	2	ガードレール設置作業 ・ビーム設置	・長尺ビームの作業ヤード外へのはみ出し	1	2	2	・運搬者は自身の位置を確認して行い、必要に応じて保安員を配置	全員	
		片付け							
	1	発生材積込、運搬	材料が車両からはみ出たり積込箇所が偏り(片荷)、運搬走行が困難 積載量を超えての積込	1	1	1	・片荷にならないよう積込に時配置を考慮する	作業員	
			積込後、固定が無かったり、不十分の為、運搬時に落下災害	2	2	4	・必要に応じて車両を増車、又は数回に分けて運搬 ・ロープ、シート掛けを必ず行い、必要に応じて結束ベルト等で固定する	作業員 職長	
	2	使用工具、材料の片付け	作業ヤード内に工具等を忘れる	1	2	3	・使用後に必ず元の場所に戻し、整理整頓に心がける	作業員	
	3	現場清掃、離脱準備	小部材やはつりガラ等が残り、ヤード解放後に飛散事故	2	2	4	・撤収前に必ず忘れ物が無いか現場内を確認する ・清掃は十分に行い、撤収前に必ず確認する	職長 全員	
移動②		現場への移動(退場時)(共通作業手順)							

可能性	1:ほとんど起きない (5年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

総合	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	1~2	3~4	5~9